

## 老齢動物の病気について(1)

認知症予防学会も認めた認知症に効果のあるサプリメントの成分として、予防効果も期待できる「フェルラ酸」が注目されていることを前号でお話しました。動物用サプリメントにも「ガードワン」という製品があり体重5kgで100mgを投与量の目安としています。ヒト用のフェルラ酸の1日の推奨量が大体200mgなので、体重あたりとしては人に較べて多く必要なのですが安全域の広い成分なので安心です。フェルラ酸は脳細胞においてアミロイドβの沈着抑制と海馬での神経幹細胞を増加させ神経新生を促すことが確認されており、認知症の根本治療と予防になり得るものと思われまます。そして認知症の症状のうち神経の過剰反応（多動性行動、徘徊、夜鳴き）に効果のあることが

動物実験で証明されています。

ヒト用のフェルガードはプラセボ対照試験で認知症症状に統計的に有意差があることが証明されましたが、動物用のガードワンでも麻布大学を中心に結果の信頼性が高い同様の試験が行われ、今年3月には結果が報告される予定です。ガードワンの効果についての個々の症例報告では、認知症スコアの改善や夜鳴き徘徊等の改善が報告されています。また、フェルラ酸はサプリメント以外でも「ワンらいす」という、お米が主成分のビスケットでも摂ることが可能です。1粒にフェルラ酸として約5mg入っているのでおいしく毎日続けることができるでしょう。

以降は、動物用サプリメントを中心に認知症に伴う

## 認知機能不全症候群⑧

## 「認知症の治療と予防(6)」



文・写真 中西章男  
text & photo by Akio Nakanishi



症状や高齢による困った症状に対して効果があると考えられる成分についてご紹介していきます。

## ●「オメガ3脂肪酸（DHA、EPAなど）」

動物用でこれらを主成分としたサプリメントとして8割以上のシェアを誇る「アンチノール」があります。オメガ脂肪酸は酸化が速く効果が低下しやすいので、そのあたりを考慮し対策してあるものがお勧めです。

オメガ3脂肪酸は、炎症を抑えたり脂質代謝を整えたり皮膚や被毛の健康を維持しアレルギー症状を軽減することが知られています。しかし、残念ながら人の認知症にも効果有りとは言えないようです。また、厚生労働省によると心臓や脳の疾患の予防効果も十分ではないようです。次号では動物に対するオメガ3脂肪酸の効果についてお話しします。



## Profile

獣医師・獣医学博士。1959年生。1986年日本獣医畜産大学（現日本獣医生命科学大学）大学院博士課程卒。大学ではフィラリア症の血行動態、腫瘍および外科の免疫について研究。1987年東京都杉並区で「阿佐谷ペットクリニック」を開院。小動物の総合診療医として犬猫のみならずウサギ、小鳥、ハムスター、モルモットなど数々の動物を診療してきた。趣味：ゴルフ、モータースポーツ、機械いじり、動物たちとの戯れ。著書：『車イスに乗ったチロ』集英社